



少しずつ暖かくなり始め、柔らかな春の日差しを感じるようになりました。4月からの進級、進学に向け子どもたちのわくわくしている様子が見られ、あっという間に1年も終わりに近づいています。病気や怪我に気をつけ、残りの日々も楽しく過ごしていきたいと思えます。

【令和7年度 後期怪我等の状況】

- ① 2歳男児 散歩中つまずき、転倒する。
→ 保育者と手を繋いで歩いたり、転倒に繋がりそうな場面には声を掛ける。
手が出ず、縁石に右おでこをぶつける。
- ② 5歳女児 玩具を拾おうと机の下に潜り、
→ 床は滑りやすい事、机の下は身動きが取りづらい事を伝えていく。
手前にあった椅子に気付かず口をぶつける。
- ③ 2歳女児 保育者と手繋ぎで散歩中に
→ 過去に数回肘内症を診断された事もあるので子どもの動きに柔軟に対応するよう気をつける。
急にしゃがみ込み、肘が抜ける。
- ④ 2歳男児 散歩先で背もたれのないベンチに
→ 公園内にある危険物を知らせる。
座わり、重心を後ろにしていたので後ろに転ぶことがある事を知らせ、
そのまま後ろに倒れる。
背もたれのないベンチに座らない様に伝える。

耳の日

「3」は耳の形に似ていることなどから3月3日は耳の日と言われています。子どもは耳の病気にかかりやすいので日頃からお子さんの様子をよく観察しましょう。

大切な耳を守るために
気をつけたいこと！

- ・鼻をすすらず、かむ習慣をつける。
- ・鼻水は、ゆっくりと片方ずつかむ。
- ・耳の近くで大きな声や音を出さない。
- ・耳を叩かない。
- ・耳掃除は綿棒で外耳道を拭き取る程度に行う。



【令和7年度 感染症状況9月～2月】

病名	人数
溶連菌感染症	3名
急性結膜炎	1名
手足口病	4名
インフルエンザA型	31名
インフルエンザB型	12名
流行性結膜炎	1名

子どもの睡眠



・子どもたちの就寝時間が遅くなっています。睡眠のリズムが狂うと生活全般のリズムが乱れ、成長や健康に悪影響を及ぼす心配があります。ご家庭で生活を見直してみてください。



- ①睡眠不足になる
 - ・睡眠時間は同じでも、早寝早起きをした時と夜更かしをした時では睡眠の質が異なります。遅く寝ると睡眠不足の状態になり、早く起きれず昼寝をさせても不足分は補えません。
- ②生活リズムが乱れ時差ボケ状態に
 - ・朝の光を浴びてリズムを整えないと生活リズムはどんどん後ろにずれて、時差ボケと同じ状態になり、疲れやすくなったり食欲や集中力が低下してしまいます。
- ③感情コントロールが困難になる
 - ・慢性的な時差ボケが続き、昼の活動が十分に行われず日中の活動量が減るとイライラしたり、攻撃的になるなど感情のコントロールが困難になってきます。
- ④眠りにくくなる
 - ・夜更かしをするといつも明るい所にいる状態になるため、体を守るホルモンの分泌が抑えられ、ますます「眠りにくく」「朝起きにくく」なってしまいます。